

19世紀後期のルーヴル百貨店の商品カタログにみる 子ども既製服のデザインと性差

新 實 五 穂

1. はじめに

歴史家フィリップ・アリエスは、中世から18世紀までのフランスにおける子ども服について、産着を着用した後、女兒は成人女性と同様の装いをするのに対し、貴族の家系やブルジョア家庭に誕生した男児は16世紀頃から第一次世界大戦後まで、幼少期にローブやジュップを身に着ける慣習があったことを指摘している¹。さらにアリエスが詳述していない、19世紀のフランスにおける男児服については、歴史家イヴァン・ジャブロンカが指摘しているように²、男らしさの観点から早熟に対する危険性が主張されたため、幼少期の男児にはキュロットやパンタロンなどのズボンを穿く以前に、ローブやジュップの着用が育児書で推奨されていたことが知られている³。

ただし、男児がズボンを穿き始める以前の装いである、ローブやジュップを男児と女兒のものとして比較すると、ローブの開きや裁断、装飾、色調に違いがあり、具体的なデザインには性差があると言われている⁴。加えて、19世紀末までチュニック形式のローブとズボンを組み合わせる子ども服は性別を問わず人気があり、男児のものはボタンや垂れ飾り、組み紐で、女兒のものはレースやフリルで飾られ、装飾によってデザインの差異化がはかられていたという指摘もある⁵。しかしながら、近代ヨーロッパにおける子ども服の具体的なデザインが社会階層や社会的地位を表象していることを分析した調査はこれまでにあるものの⁶、子ども服のデザインにおける性差に関しては、個別のデザインに着目した具体的で実証的な調査が進んでおらず、未だ不明瞭な点が存在している。

また子ども服のデザインにおける性差に関しては、既製の子ども服が性別を明示した上で販売されるようになった影響が少なからず関係していると推察される。フランスでは第二帝政期にパリで誕生した百貨店が既製服の生産と流通を推進した結果、仕立て（誂え物）や古着から既製服へとといった新たな購入・消費体系が生み出されたことがつとに知られている⁷。そして同時期に出生率が上昇したこともあってか⁸、草創期の百貨店は経営戦略上、子ども服売場を重要視し、注力していたようである⁹。たとえば、1855年にパリで創業したルーヴル百貨店は、他の百貨店よりも比較的早い時期である1867年3月に子ども服売場を創設し、母親たちの評判を呼ぶ商品展開を行っており、売場や印刷メディア（イラスト付き商品カタログ）で当初「子ども用衣服」とされていた商品が、次第に「男児用衣服」・「女兒用衣服」として明確に分類されるようになっていった。なお、ルーヴル百貨店が刊行したイラスト付き商品カタログによって、性別や対象年齢、価格、デザインなどを具体的に知ることができるため、論文「19世紀後期のルーヴル百貨店におけるスコットランド風男児服—子ども服売場の創設と商品カタログの展開—」¹⁰では、ルーヴル百貨店のイラスト付き商品カタログを用いて、欧米の男児に広く普及した最初の装いと見なされている¹¹、スコットランド風男児服がどのような商品デザインで販売されていたかについて、上着を中心に明らかに

した。

上記の調査により、草創期のルーヴル百貨店が男児服に異国趣味のデザインを取り入れていた様子の一端を解明することができた反面、男児服や女児服としていかなる商品が販売される傾向にあったのか、さらにはそれらの商品デザインにおいて性差が存在したのかどうかについては考察の余地が残されている。またルーヴル百貨店が顧客に無料で配布したイラスト付き商品カタログには、「スコットランド風」・「イギリス風」・「ロシア風」・「ルイ15世風」などのような、男児服と女児服とで同じ商品名の付けられた異国趣味や懐古趣味を思わせる商品が掲載されているため、このような商品を事例にデザインの性差を比較検討できるはずである。

ゆえに本論文では、ガリエラ宮パリ市立モード美術館が所蔵するルーヴル百貨店のイラスト付き商品カタログを使用して¹²、同百貨店の草創期に販売された異国趣味や懐古趣味の子ども服のデザインを類別し、とりわけ「スコットランド風」と称される商品デザインをめぐる子ども服の性差について考察することを目的とする。そして1870年代から1880年代にかけてルーヴル百貨店で販売された子ども服にどのような商品の傾向があり、商品デザインにおいて男児服と女児服にいかなる共通点や相違点があったのかを明確にする。その結果、19世紀後期のフランス社会において、子ども既製服に求められた男らしい／女らしいデザインがより明らかになることで、幼少期に子どもが身に着けた服装の実態を解明することへと繋がっていくだろう。

2. 子ども服の商品デザイン

ルーヴル百貨店のイラスト付き商品カタログは1872年から刊行が開始され、同カタログの中で子ども用衣服が取り上げられるようになったのは1876年以降のことであるとされる¹³。実際、ガリエラ宮パリ市立モード美術館が所蔵するルーヴル百貨店のイラスト付き商品カタログに目を向けると、子ども用衣服が1875年冬の商品カタログで初めて掲載され、1876-77年冬の商品カタログから複数頁にわたり本格的に掲載されるようになっていった事実を確認できる。さらに1880年夏の商品カタログ以降、「子ども用衣服」が「男児 (Garçonnet) 用衣服」と「女児 (Fillettes) 用衣服」というように、性別によって頁が区分され、明瞭に分類された上で商品が販売されていることを確かめられる。

では、ルーヴル百貨店が草創期に刊行した1875年冬から1890-91年冬までの商品カタログにおいて、どのような子ども服が取り扱われていたのだろうか。商品カタログでは、基本的にコスチュームやローブ、ヴェストやジューブなどの衣服の名称そのものが商品名となっているものの、たとえば「スコットランド風上着」や「イギリス風ローブ」、「ロシア風ブラウス」、「ルイ15世風マント」などのように、異国趣味や懐古趣味を連想させる商品名が少なからず存在している。そして1875年冬から1890-91年冬までの商品カタログに掲載された商品の名称の中で、異国趣味・懐古趣味のデザインを想起させるものとしては、「スコットランド風écossais(e), tartan」・「マリン風・水兵風marin(e), plage, matelot」・「イギリス風anglais(e)」・「ロシア風russe」・「ブルターニュ風breton(ne)」・「ポーランド風polonais(e)」・「アイルランド風irelandais(e)」・「アメリカ風américain(e)」・「ルイ15世風Louis XV」といった主に9つのデザインが挙げられる。なお、本論文では「マリン風・水兵風」のデザインを異国趣味に含めて考えることにする。というのも、「マリン風・水兵風」の子ども服は、1850年頃にイギリスで誕生した装いと見なされているからである¹⁴。イギリスのヴィクトリア女王 (Alexandrina Victoria, 1819-1901) が息子のアルバート・エドワード王子 (Albert Edward, 1841-1910) に水兵風の装いをさせ、その姿を描いた王室肖像画

家のフランツ・ヴィンターハルターの絵画が1846年に発表されると、王子の装いをヨーロッパの貴族やブルジョアが模倣したことが契機となり、フランスでは第三共和政下でブルジョア家庭の子どもが着用する正装として普及し、1880年頃には男女ともに用いられる子どもの日常着として定着したと指摘されている¹⁵。さらに「マリン風・水兵風」の子ども服は、商品カタログの中で、イギリス型やイギリス式、イギリス製の素材といった言葉が補われて商品の説明がなされている場合が、数は多くないものが見受けられるからである。

このような9つのデザインは、1875年冬から1890-91年冬までの商品カタログに掲載された子ども服の総計2201点のうちの658点（約30%）を占めており、9つのデザインの各商品数をはじめ、着用対象者の性別（子ども・乳児・男児・女児で区別）ならびに商品の種類をまとめたものが表1である。9つのデザインの商品数は、「マリン風・水兵風」が287点で最も多く、次いで「イギリス風」が147点、「スコットランド風」が136点と続き、その後「ロシア風」が41点、「ポーランド風」が27点、「ブルターニュ風」が12点、「ルイ15世風」が6点、「アイルランド風」と「アメリカ風」が各1点となっている。つまり、異国趣味・懐古趣味のデザインの中で、「マリン風・水兵風」・「イギリス風」・「スコットランド風」といった3つのデザインのみで、全体の約87%に達している。ただし、「マリン風・水兵風」のデザインに関しては、商品カタログのイラストにセーラー・カラーや錨のマークなどが描かれており、「マリン風・水兵風」の装いと考えられる場合でも、商品名や商品説明に文字として記述されていないものは、表1に点数を計上していないため、実際には表1の点数以上の商品がカタログに掲載されている印象を受ける。さらに「スコットランド風」のデザインに関しては、タータン（スコットランドの格子柄や格子柄の織物）として、「マリン風・水兵風」や「イギリス風」、「ロシア風」といった名称が付けられた商品の説明文に記述されている場合があったため、そのような場合は両者のデザインとして表1に点数を計上した。

結果として、表1の着用対象者および商品の種類の総計から明らかのように、「アイルランド風」と「アメリカ風」はそれぞれ1880年代後期に女兒の1点しか事例が存在しなかった。加えて、18世紀前期から中期のフランス宮廷の装いを模倣した「ルイ15世風」は1880年代半ばまでに男児中心に6点、フランス西部ブルターニュ地方の伝統的な装いや装飾（刺繍）を模倣した「ブルターニュ風」は1880年代中期から後期までに男児中心に12点、主に18世紀フランスの女性がジュップを後ろ腰にたくし上げて着装した方法を模した、後ろ腰が膨らんだシルエットである「ポーランド風」は1870年代後期と80年代後期に女兒中心に27点、「ロシア風」は1880年代中期から後期までに41点といったように、これらのデザインは比較的、販売された時期や着用者の性別にやや偏りが見られた。また事例が少ないこともあり、商品の種類が多岐の衣類に及ぶ訳ではなく、上衣と下衣とを組み合わせたコスチュームをはじめ、「ロシア風」の場合はロシア男性の民族衣装「ルバシカ（ルパシカ）」である、刺繍が施され、立ち襟のゆったりしたブラウス風の上衣を連想させるような、ブルーズ（ブラウス）が主流な商品となっている。

他方で、「マリン風・水兵風」・「イギリス風」・「スコットランド風」といった3つのデザインは、着用者の性別や商品の種類に偏りは見られるものの、1870年代から80年代にかけて定期的に販売され続けた商品であると考えられる。まず、最多の「マリン風・水兵風」のデザインに関しては、商品の数量が「イギリス風」や「スコットランド風」のデザインの2倍近くに上る。そして商品数287点の内訳が、男児230点・女兒54点・子ども3点であることから、男児向けの商品が約80%、女兒向けの商品が約19%に該当し、主に男児向けに販売された商品であることが明白である。さらに商品の種類の内訳は、コスチューム228点・外套21点・アイテムの名称無し17点・マント11点・上着（ヴェストンもしくはヴェスト）8点・ローブ1点であることから、約79%が上衣と下衣の組み合わせであるコスチュームとして販売されている。そ

の上、「イギリス風」や「スコットランド風」のデザインと比較して、外套（コート）やマントなどの外衣のデザインにも多く用いられている点が特徴として挙げられる。商品カタログにおける「マリン風・水兵風」のデザインは、セーラー・カラーはもとより、胸当て（プラストロン）やスカーフ、ストライプ柄、マリン・ブルーの色調、錨のワッペン、金の組み紐などを部分的にでも取り入れれば、簡単に分かりやすく「マリン風・水兵風」の装いを作り出せるため、幅広い種類の商品を開発していくのに向いていたデザインと考えられる。

次に、「イギリス風」のデザインに関しては、商品数147点の内訳が女兒127点・男児17点・子ども3点であることから、女兒向けの商品が約86%、男児向けの商品が約12%に上り、主に女兒向けに販売された商品であると言える。また商品の種類の内訳は、ローブ125点・コスチューム12点・上着（ヴェストン）4点・外套3点・ブルーズ（ブラウス）2点・マント1点であることから、約85%がローブとして販売されている。女兒用ローブが主流の商品である「イギリス風」のデザインは、商品カタログにおいて、ある特徴的なデザインが存在する訳でも、1つの特定のデザインを指し示す訳でもないため、その傾向は把握しづらい。けれども、商品の名称に「イギリス風」と付けられているか、いないかにかかわらず、イギリスの刺繍やイギリスの格子柄、イギリス製の布地、イギリス型の形状やイギリス風の縫い目など装飾や素材、裁断や縫製などの仕立ての説明において、「イギリス」という言葉が補足されて商品の説明がなされている場合がある点に特徴が存在する。その意味では、装飾や仕立てなどの一見、分かりづらい細部にこだわりを持つイギリス由来のデザインが「イギリス風」であると推察できる。

最後に、「スコットランド風」のデザインに関しては、商品数136点の内訳が女兒90点・男児28点・子ども10点・乳児8点であることから、女兒向けの商品が約66%、男児向けの商品が約21%に上り、女兒向けの商品数の方が多くなっている。さらに商品の種類の内訳は、ローブ62点・コスチューム36点・上着（ヴェスト）12点・ジュップ12点・ブルーズ（ブラウス）10点・マント3点・外套1点であることから、ローブとコスチュームで全体の約72%を占めている。ただし、商品が販売された年代を考慮すると、コスチュームやヴェスト、ならびにヴェストとジュップとの組み合わせのような男児向けの商品として当初は販売されながらも、次第に女兒のローブの中に取り入れられる事例が増加するため、女兒向けの商品数の方が多くなっている傾向にある。

いずれにせよ、草創期のルーヴル百貨店で販売された異国趣味・懐古趣味の子ども服において、男児は「マリン風・水兵風」を軸に、「スコットランド風」や「ロシア風」のデザインの商品が多く販売されていたのに対し、女兒は「イギリス風」を軸に、「スコットランド風」や「マリン風・水兵風」のデザインが多く販売されていたことを確認できる。中でも、次章で扱う「スコットランド風」のデザインは両性の服装として一定数販売され、コスチューム以外では、男児向けにはヴェストやジュップという商品で、女兒向けにはローブやブラウスという商品で主に販売されていたようである。

3. スコットランド風の商品デザイン

では、「スコットランド風」のデザインは、どのようにして19世紀後期のフランス社会で子ども服のデザインとして採用されるようになったのだろうか。そもそも、スコットランドのデザインが、ヨーロッパの服飾流行に影響を与えるようになったのは、19世紀初頭のことでであるとされる。とりわけフランスの女性たちの服装にタータンの模様が取り入れられようになったのは、1796年から1815年のナポレオン戦争の際、スコットランドの連隊が揃いのタータンのキルト（スコットランド高地人の髣髴きスカート）を軍

服として着用していた姿をパリの人々が目撃したことに関係している¹⁶。スコットランドの連隊は前裾が斜め裁ちの赤い上着に、ベルト付きのブラッド（スコットランド高地人のタータンの肩掛け）を折り畳んでスカート状にし、青い丸帽子や小さな革製靴であるスポーラン、赤と白の膝丈の靴下、バックル付きの黒い靴を身に着けており、1810年頃までにベルト付きのブラッドは嵩張らず、より身体に密着するキルトへと変更されたようである¹⁷。

またスコットランド連隊の軍服に加え、イギリスの国王ジョージ4世（George IV, 1762-1830）がスコットランドの装いを民族衣装に高め、ジョージ4世の姪であるヴィクトリア女王がスコットランドの装いを商業化したと指摘されているように¹⁸、イギリスの王族による影響を受け、そのデザインは注目を集めることになっていった。前者のジョージ4世は自身への支持をとりつける政略的な意図で、スコットランドのエディンバラを1822年に公式訪問した際、赤いタータンの豪華なキルトをはじめ、縁なし帽子やスポーラン、膝丈の靴下などからなるスコットランドの男性の服装を着用して、ホリールードハウス宮殿での式典に参加した。ジョージ4世がスコットランドの伝統的な装いをした姿は、宮廷画家であったデヴィッド・ウィルキーが1828年に制作した国王の肖像画によって確認することができる。結果として、国王の着衣行為は、スコットランドの装いが国家を代表するものであると印象づけ、スコットランドとイギリスとが連合王国であることの象徴になったとされる¹⁹。このジョージ4世のエディンバラ訪問や式典に尽力したのが、詩人で小説家のウォルター・スコット（Walter Scott, 1771-1832）であり、彼は理想化され、美化されたスコットランド史を多数の作品で描いた。彼の作品を通して、氏族に基づくタータン（クラン・タータン）²⁰およびスコットランドの伝統的な装いに対する関心が、王政復古期のフランスでは広がっていったと言われる。そして子どもの服装、とくに5歳または6歳までの良家の男児用ローブとして「スコットランド風」のデザインは取り入れられていったようである²¹。

一方、後者のヴィクトリア女王は夫のアルバート公とともに1842年にスコットランドを初めて訪問し、原始的な田園風景を残し、産業化以前の理想郷のようなスコットランドに惹きつけられ、1847年頃にバルモラルの地所を購入し、毎年、滞在するようになると、タータンをはじめとするスコットランドの装いへの愛着を深めていったとされる²²。たとえば、ヴィクトリア女王はバルモラルに建てられた邸宅の室内をタータンで装飾し、アルバート公は1853年にバルモラルタータンのデザインを行うなど、夫妻はタータンを愛好し、タータンの布地の流行を後押しした。さらに夫妻は自身の服装はもとより、男児にはキルトを、女兒にはタータンのローブを着せるなど、子どもたちの服装にもスコットランドの装いを積極的に取り入れていった。中でも、ヴィクトリア女王が1855年にパリを公式訪問した際、アルバート・エドワード王子に裾飾りのある黒い上着に赤と緑のタータンのキルトや靴下、スポーランなどの子ども用のスコットランドの服装一式を身に着けさせ、ヴェルサイユ宮殿での舞踏会などの式典に参加させたことは、フランスにおいてスコットランドの装いが子ども服のデザインとしてより関心を集めることに寄与したようである²³。このような影響を受け、「スコットランド風」のデザインは19世紀後期のヨーロッパ各国で上層階級の男児服のデザインとして隆盛し、とくにタータンの短い丈のジュペット（スカート）や畝のある長靴下が流行したことが指摘されている²⁴。しかしながら、ルーヴル百貨店の商品カタログには、男児服として、スコットランドの男性の伝統的な装いを模した、盾型の裾飾り付きの上着が1880年代後期まで掲載されている。この事実から、「スコットランド風」の異国趣味のデザインはジュペットや長靴下に留まらず、子ども服のデザインの中に取り入れられていたと言える。

それでは、草創期のルーヴル百貨店で販売されていた「スコットランド風」の子ども服のデザインは、具体的にどのようなものであったのだろうか。1875年冬から1890-91年冬までの商品カタログに掲載さ

れた、「スコットランド風」の子ども服について、着用対象者・商品名・衣服の種別・対象年齢もしくは丈の長さ・デザインの特徴（商品説明）・価格をまとめたものが表2である。なお、女性が百貨店で既製服を購入する場合、16歳以上は婦人服売場に区分されるが、それ以下の年齢は子ども服売場に区分され、3歳から13歳までは裾丈の長さで、13歳から16歳までは年齢で対象となる商品が分類されていたと言われる²⁵。

子ども用衣服が男児用と女児用とで明確に分類されるようになる、1880年夏の商品カタログ以前には、「スコットランド風」の商品デザインの大半が、タータンという格子柄の全身着やプリーツスカートである。そして商品名に唯一「スコットランド風」と付けられ、1878-79年冬の商品カタログに掲載された商品も、タータン模様の少女用コスチュームになっている。ただし、1878年夏の商品カタログに掲載された2歳から8歳向けのマントのみ、商品説明やイラストにタータンの模様は記されず、商品説明では「スコットランド型」と記されている。さらに商品のイラストには盾型の裾飾り付きの外衣が描かれているため（図1）、これがスコットランド型のデザインを指しており、1880年代に男児向けに販売され、タータンの模様や布地は使用されていないデザインである「スコットランド風の上着」に繋がる商品であると考えられる。

また1880年夏の商品カタログ以降、商品名に「スコットランド風」と付けられた商品は、1歳半～2歳から4歳～5歳向けの男児用の上着（ベスト）が10点、13歳から16歳向けの女児用のコスチュームが3点、13歳以下向けの女児用のマントが1点の計14点であり、女児用のコスチュームとマントの商品イラストには、いずれもタータンの模様が描かれている。加えて、1880年代後期から販売された「スコットランド風の上着」のうちの5点は、タータンのジュップとの組み合わせで商品が販売されている（図2）。しかしながら、10点の「スコットランド風の上着」のデザイン自体には、先述したようにタータンの模様や布地は用いられず、上着は基本的に青や緑、黒や灰、茶系統の無地の毛織物製で、プリーツやボタン、縁取りで前面が飾られ、装飾のついた盾型や方形などの裾飾りから成っている（図3）。なお、1880年夏の商品カタログ以降、男児向けに販売された「スコットランド風」のデザインは、上着以外の13点のすべての商品がタータンのスカートやプリーツスカートである。そして4点のプリーツスカートのうち、2点の商品は2歳から5歳向けの男児用の商品である、「マリン風・水兵風の服装」の上衣に組み合わせる下衣として販売されていた。

他方で、1880年夏の商品カタログ以降、女児向けに販売された「スコットランド風」のデザインは総計88点ある。商品説明の簡潔な記述のみで商品イラストが無く、確実視できない事例が含まれるものの、そのほぼ全ての商品の生地あるいは装飾としてタータンが使用されている。また女児向けに発売された商品には、他の異国趣味のデザインでもある商品が男児向けのものよりも多く、「イギリス風」のデザインが30点（ローブ27点・上着2点・ブラウス1点）をはじめ、「ロシア風」のデザインが8点（ブラウスが7点・ローブが1点）で、「マリン風・水兵風のコスチューム」が7点、「ポーランド風のコスチューム」が1点となっており、とりわけ「イギリス風のローブ」のデザインにタータンが活用されている。さらに「スコットランド風」のデザインでなおかつ「イギリス風」のデザインでもある、女児向けに発売された商品は、ピロード飾りの装飾が最も多く、それにリボン飾りやボタン飾り、刺繍での装飾が続いている。このことは、「スコットランド風」のデザインの女児服全体でも、ピロード飾りや刺繍、リボン飾りが多く、次いでボタンや組み紐・飾り紐での装飾の数が多くなっている状況に繋がっている。女児服ではタータン自体が衣服の生地として用いられているのは勿論、ピロード飾りに加え、襟や袖口、ヨークの装飾、裾や縁のバイアス飾り、リボンベルトとなって、さまざまな部分で使用されている。一方、「スコットランド風」のデザインの男児服全体では、プリーツやボタンでの装飾方法が多くなっている。ただし、「スコットラ

ンド風」の子ども服のデザインに関しては、商品説明において装飾や素材の記述は充実している反面、「スコットランド風の上着」以外では、商品説明において色調が必ずしも記されていない場合が多く、事例が少ないため、商品の色調の傾向は把握しづらいと言える。

結果として、「スコットランド風」の男児向けの商品はプリーツ飾りや盾形の裾飾り付き上着およびタータンのプリーツスカートといった、スコットランドの男性の伝統的な装いや装飾と深く繋がるデザインが主なものであった。そこには、そもそもタータンや襷付けしたキルトなどがスコットランドの男性の伝統的な装いに由来するデザインであったこと、さらには男児用のスコットランドの服装一式が幼少期の男児がローブやジュップを着用する慣習に適し、そのまま活用しやすいデザインであったことも関係しているかもしれない²⁶。一方で、女兒向けの商品はタータンの模様や生地としてのみ取り入れられ、男児服以上の多様な装飾方法と組み合わせられたため、商品名に「スコットランド風」と称されていない子ども服のデザインにも活用されていた。そのような意味で、男児の商品では異国趣味が模様や形状を模倣するデザインとして商品展開がなされたのに対し、女兒の商品では異国趣味が模様の模倣のみに留まり、形状を模倣するデザインとして商品展開がなされなかったものの、他の異国趣味ともより融合した装飾やテキスタイルのデザインで商品が販売されていた点に違いがあると考えられる。

4. おわりに

草創期のルーヴル百貨店で販売された異国趣味・懐古趣味の子ども服のデザインにおいて、男児服は「マリン風・水兵風」や「スコットランド風」が、女兒服は「イギリス風」や「スコットランド風」が主力な商品として販売されていた。そして「マリン風・水兵風」のデザインは男児のコスチュームや外套という商品で、「イギリス風」のデザインは女兒のローブという商品で主に販売されていた。一方、「スコットランド風」のデザインは、コスチュームは男児と女兒とに共通して、上着（ヴェスト）やジュップは男児服で、ローブやブラウスは女兒服で主に販売されていた商品であった。また商品名に「スコットランド風」が掲げられたデザインは、男児服ではタータン以外にも、裾飾りが付いた「スコットランド風の上着」のデザインとして展開したものの、女兒服では主にタータンを取り入れるに留まり、商品デザインの展開において性差が見られた。さらに「スコットランド風」のデザインにおいて、男児服よりも装飾方法に多様性があった女兒服の方が、タータンが衣服の布地だけでなく装飾として、他の異国趣味のデザイン、とりわけ細部のデザインにこだわりを持つ「イギリス風」のデザインの中で活用されていた点に性別による違いが存在した。

本論文では、主に1870年代から80年代の「スコットランド風」の子ども服に対象が限定されたため、既製の子ども服のデザインにおける性差を考察する上で、検討すべき具体的なデザインの事例は未だ残されている。今後は、子ども服のデザインの対象範囲や扱う時代をさらに広げて、「スコットランド風」以外の事例および1880年代以降の年代についても詳しく分析し、子ども既製服のデザインにおける性別に基づく特徴を明確にしたい。そして子ども既製服を供給する上でどのようなデザインの性差が生じているか、さらにはそこにかなる時代のジェンダー意識や子ども観が反映しているかについて明らかにして、近代フランス社会で大人が子ども服に求めたデザインを解明していきたい。

表1 異国趣味・懐古趣味の子ども服のデザイン

| 刊行年 | 子ども服の 頁数 | 子ども服の 商品数 | スコットランド風 écossais, écossais,tartan | マリン風・水兵風 marin, marine, plage, matelot | イギリス風 anglais, anglaise | ロシア風 russe | ブルターニュ風 breton, bretonne | ポーランド風 polonais, polonaise | アイルランド風 irlandais, irlandaise | アメリカ風 américain, américaine | ルイ15世風 Louis XV |
|---------------------|-------------|--------------|--|---|--|--|--|---|-------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------|
| 1873 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1875春 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1875冬 | 1 | 2 | 0 | 男児1(コスチューム) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1876夏 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1876-77冬 | 12 | 48 | 乳児1(ロープ) | 0 | 子ども1(ロープ)・ 女児1(ロープ) (計2) | 0 | 0 | 女児2(マント 2) | 0 | 0 | 0 |
| 1877夏 | 16 | 59 | 0 | 子ども3(コスチューム 3) | 子ども1(ブルーズ (ブラウス)) | 0 | 子ども2(ロープ1、 コスチューム1) | 子ども3(コス チューム3) | 0 | 0 | 子ども1(コス チューム) |
| 1877-78冬 | 15 | 61 | 子ども4(コスチューム 3、ロープ1)・男児1 (コスチューム) (計5) | 0 | 0 | 0 | 0 | 子ども1(コス チューム)・女 児3(コスチュー ム2、アイテム 無し1) (計4) | 0 | 0 | 0 |
| 1878夏 | 20 | 81 | 子ども(マント) | 男児1(コスチューム) | 子ども1(ロープ) | 0 | 0 | 女児(コス チューム6) | 0 | 0 | 0 |
| 1878-79冬 | 11 | 43 | 子ども5(ロープ3、コス チューム2)・乳児1 (ロープ)・男児4(コス チューム4)・女児2(コ スチューム2) (計12) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1880夏 | 22 | 166 | 男児1(コスチューム) | 男児3(コスチューム3) | 男児3(マント1、 ロープ1、中学生 の外着1) | 男児1(シャツ (シュミゼット)) | 0 | 0 | 0 | 0 | 男児1(コス チューム) |
| 1881夏(Part1) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1881夏(Part2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1881夏(Part3) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1881夏(Part4) | 25 | 182 | 男児2(ヴェスト2) | 男児9(コスチューム 8、ロープ1) | 0 | 男児3(ブルーズ (ブラウス)2、ロー プ1) | 0 | 0 | 0 | 0 | 男児3(マント 2、コスチュー ム1) |
| 1885夏 | 10 | 78 | 0 | 男児11(コスチューム 10、上着(ヴェストン) 1)・女児4(コスチュー ム4) (計15) | 男児2(コス チューム2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1885-86冬 | 15 | 110 | 女児2(ロープ2) | 男児11(コスチューム 10、上着(ヴェストン) 1)・女児1(コスチュー ム) (計12) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1886夏(Part1) | 2 | 34 | 男児1(ジュップ) | 男児4(コスチューム 3、マント1) | 男児2(コス チューム2)・女児 2(ロープ2) (計4) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1886夏(Part2) | 2 | 34 | 乳児1(ブルーズ(ブラウ ス))・女児1(ロー プ) (計2) | 男児12(コスチューム 9、マント2、上着(ヴェ ストン)1) | 女児2(ロープ2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1886夏(Part3) | 16 | 144 | 男児2(コスチューム 1、ジュップ1)・女児4 (ロープ4) (計6) | 男児25(コスチューム 21、上着(ヴェストン) 2、マント2) | 女児17(ロープ 17) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 女児1(上着) |
| 1886-87冬 (Part1) | 19 | 138 | 乳児1(ブルーズ(ブラウ ス))・男児2(ヴェス ト1、ジュップ1)・女児4 (ヴェスト2、ロープ1、 コスチューム1) (計7) | 男児18(コスチューム 15、外着3)・女児3(コ スチューム2、外着1) (計21) | 男児3(コス チューム3)・女児 10(ロープ7、上 着(ヴェストン)3) (計13) | 男児2(コスチュー ム1、(ブルーズ (ブラウス)1)・女 児1(ブルーズ(ブ ラウス)4) (計3) | 男児1(コスチュー ム)・女児2(コス チューム2、 ジュップ1) (計3) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1886-87冬 (Part2) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1887夏(Part1) | 7 | 82 | 女児3(ロープ2、ジュ ップ1) | 男児9(コスチューム 6、外着2、上着(ヴェス トン)1)・女児1(コス チューム) (計10) | 男児2(コス チューム2)・ジュ ップ2)・女児9(ロー プ9) (計11) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1887夏(Part2) | 14 | 103 | 男児3(ヴェスト2、 ジュップ1)・女児12(コ スチューム5、ロープ 4、ブルーズ(ブラウス) 2、ジュップ1) (計16) | 男児8(コスチューム 7、外着1)・女児5(コ スチューム5) (計13) | 男児2(上着(ヴェ ストン)1、コス チューム1)・女児 15(ロープ15) (計17) | 女児4(ブルーズ (ブラウス)4) | 0 | 女児4(コス チューム4) | 0 | 0 | 0 |
| 1887-88冬 (Part1) | 7 | 63 | 男児1(コスチューム) ・女児7(ジュップ 2、ロープ2、ブルーズ (ブラウス)2、コス チューム1) (計8) | 男児5(コスチューム 3、外着2)・女児1(コ スチューム) (計6) | 女児6(ロープ) | 女児2(ブルーズ (ブラウス)2) | 0 | 女児2(コス チューム1、 ロープ1) | 0 | 0 | 0 |
| 1887-88冬 (Part2) | 14 | 93 | 男児4(ジュップ2、ヴェ スト1、コスチューム 1)・女児6(ロープ4、ブ ルーズ(ブラウス)1、コ スチューム1) (計10) | 男児12(コスチューム 10、外着1、ヴェスト 1)・女児3(コスチュー ム3) (計15) | 女児8(ロープ7、 ブルーズ(ブラウ ス)1) | 女児2(ブルーズ (ブラウス)2) | 0 | 女児1(コス チューム) | 0 | 0 | 0 |
| 1888夏 | 15 | 107 | 乳児2(ロープ2)・男児 2(コスチューム1、ヴェ スト1) (計4) | 男児13(コスチューム 10、ヴェスト1、マント 1、外着1)・女児8(コ スチューム7、アイテム 無し1) (計21) | 男児2(コス チューム2)・女児 9(ロープ8、外着 1) (計11) | 男児1(コスチュー ム)・女児1(ブ ルーズ(ブラウ ス)) (計2) | 男児1(コスチュー ム) | 女児2(コス チューム2) | 女児1(マント) | 0 | 0 |
| 1888-89冬 | 14 | 86 | 男児4(ヴェスト2、 ジュップ2)・女児1(コ スチューム) (計5) | 男児10(コスチューム 8、外着1、マント1) ・女児5(コスチューム 4、ロープ1) (計15) | 女児7(ロープ7) | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1889夏(Part1) | 7 | 74 | 女児2(マント1、ロー プ1) | 男児10(コスチューム 8、外着2)・女児3(コ スチューム3) (計13) | 女児4(ロープ4) | 男児2(ブルーズ (ブラウス)2) | 男児2(コスチュー ム2) | 0 | 0 | 0 | 0 |

19世紀後期のルーヴル百貨店の商品カタログにみる子ども既製服のデザインと性差

| | | | | | | | | | | | |
|--------------|-----|------|---|---|--|--|-----------------------|----------------------------------|------|---------|----------------------|
| 1889夏(Part2) | 15 | 123 | 乳児1(ローブ)・男児1(ヴェスト)・女児10(ローブ、コスチューム5) (計12) | 男児22(コスチューム18、アイテム無し2、マント1、外套1)・女児14(コスチューム13、アイテム無し1) (計38) | 男児1(外套)・女児17(ローブ17) (計18) | 男児1(コスチューム) | 男児1(コスチューム) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1889-90冬 | 7 | 65 | 女児4(コスチューム2、ローブ2) | 男児10(コスチューム7、外套2、マント1) | 女児4(ローブ) | 男児3(コスチューム3) | 男児1(コスチューム) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1890夏 | 15 | 121 | 乳児1(ローブ)・女児25(コスチューム10、ローブ10、ブルーズ(ブラウス)3、外套1、マント1) (計28) | 男児23(コスチューム11、アイテム無し9、外套2、マント1)・女児4(コスチューム3、アイテム無し1) (計27) | 女児8(ローブ) | 男児5(コスチューム2、ブルーズ(ブラウス)2、マント1)・女児4(ブルーズ(ブラウス)4) (計9) | 男児1(コスチューム) | 0 | 0 | 女児1(外套) | 0 |
| 1890-91冬 | 12 | 104 | 女児7(ローブ4、コスチューム3) | 男児13(コスチューム7、アイテム無し3、外套2、マント1)・女児2(コスチューム2) (計15) | 女児8(ローブ) | 男児5(ブルーズ(ブラウス)5)・女児4(ローブ4) (計9) | 男児1(コスチューム) | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総計(着用対象者) | | | 子ども10・乳児8・男児28・女児90 (計138) | 子ども3・男児230・女児54 (計267) | 子ども3・男児17・女児127 (計147) | 男児23・女児18 (計41) | 子ども2・男児8・女児9 (計12) | 子ども4・女児23 (計27) | 女児1 | 女児1 | 子ども1・男児4・女児1 (計6) |
| 総計(商品の種類) | | | ローブ62・コスチューム36・上着12・ジュッピ2・ブルーズ(ブラウス)10・マント3・外套1 | コスチューム228・外套21・アイテム無し17・マント11・上着8・ローブ2 | ローブ125・コスチューム12・上着4・外套3・ブルーズ(ブラウス)2・マント1 | ブルーズ(ブラウス)28・コスチューム8・ローブ・シャツ(シュミセット)1・マント1 | コスチューム11・ローブ1 | コスチューム22・マント2・アイテム無し1・ジュッピ1・ローブ1 | マント1 | 外套1 | コスチューム3・マント2・上着1 |
| 総計 | 301 | 2201 | | | | | | | | | |

表2 スコットランド風の子どもの服のデザイン

| 刊行年 | 男児/女児 | 商品番号 | 商品名 | 種別 | 対象年齢/丈の長さ | デザインの特徴 | 価格(fr.) |
|--------------|------------|------|------------------|-------------|-----------|--|----------------|
| 1873 | | | | | | | |
| 1875春 | | | | | | | |
| 1875冬 | | | | | | | |
| 1876夏 | | | | | | | |
| 1876-77冬 | 乳児 | 721 | 乳児用ローブ | ローブ | 18ヶ月-3才 | 全色のタータン、刺繍飾り | 16.5 |
| 1877夏 | | | | | | | |
| 1877-78冬 | 少女または少年 | 608 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | タータン | 35-42 |
| | 少年 | 611 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | タータンまたは毛織物 | 35-45 |
| | 子ども | 614 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | 毛織物、斑点のある緑と青のタータン | 35-42 |
| | 子ども | 642 | ローブ | ローブ | 3-9才 | 斑点のある緑と青の布地、スコットランド風、美しいタータン | 35-42 |
| | 子ども | 653 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | 斑点のある緑と青のスコットランドのタータン、ファイユの装飾り | 35-42 |
| 1878夏 | 子ども | 674 | 外套 | マント | 2-8才 | 無地の毛織物、スコットランド型、モヘアの組み紐 | 29-32 |
| 1878-79冬 | 子ども | 604 | ローブ | ローブ | 2-7才 | スコットランド風タータン、スカートは2段のプリーツフリル、胴着はギャザー付きヨーク | 18.5-22.5 |
| | 子ども | 606 | 服装 | コスチューム | 12-16才 | タータンの布地、プリーツスカート、折り返されたチュニック、プリーツの胴着はベルトで調整 | 通常:75 上質:95 |
| | 子ども | 609 | 服装 | コスチューム | 9-13才 | タータンの布地、高さのあるプリーツのスカート、ファイユや金ボタン、プリーツで飾られた長いバルト(コート) | 65 |
| | 少年 | 612 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | スコットランド風タータン、プリーツスカート、胴着はバルトになる | 25 |
| | 子ども | 614 | ローブ | ローブ | 18ヶ月-4才 | スコットランド風タータン、プリーツのスカートと胴着 | 13.5 |
| | 少年 | 618 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | スコットランド風タータン、プリーツスカート、スカート付きバルト | 25 |
| | 少年 | 619 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | スコットランド風タータン、スカート、ジレ(チョッキ)付きバルト | 22.5 |
| | 少女 | 625 | スコットランド風服装 | コスチューム | 12-16才 | 非常に上質のタータン、紡毛織物のプリーツスカート、プリーツの胴着 | 110 |
| | 乳児 | 627 | ローブ | ローブ | 18ヶ月-4才 | タータンの布地 | 13.5 |
| | 子ども | 630 | ローブ | ローブ | 2-7才 | タータンの布地、プリーツスカート、胴着はバルトになる、ブレードと金ボタン | 28-35 |
| | 少年 | 632 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | タータンの布地、プリーツスカート、ジレとヴェスト、一揃い | 22.5 |
| | 少女 | 643 | 服装 | コスチューム | 12-16才 | 上質のタータンの布地、スカートはプリーツフリル、チュニックは前面にギャザー、胴着は布片(継ぎ)と装 | 110 |
| 1880夏 | 子ども(少年に分類) | 629 | 非常に優雅な服装 | コスチューム | 2-5才 | 軽く、風変わりな毛織物、ページュ・マロン・ブルー・マリン、黒い上着にはタータンのプリーツスカート、上着はサテンのアップリケと素敵なボタン飾り | 55 |
| 1881夏(Part1) | | | | | | | |
| 1881夏(Part2) | | | | | | | |
| 1881夏(Part3) | | | | | | | |
| 1881夏(Part4) | 子ども(少年に分類) | 696 | スコットランド風上着 | ヴェスト | 1才6ヶ月-5才 | ブルー・マリンまたは濃い緑の無地の毛織物、可愛らしいボタン飾り | 36 |
| | 子ども(少年に分類) | 748 | 新作の服装、スコットランド風上着 | コスチューム、ヴェスト | 2-4才 | 軽い毛織物、ブルー・マリン、濃い緑・濃いマロン、サテンのバイアスや銅のボタン、バックルで装飾、刺繍されたスカート | 35 |

| | | | | | | | |
|-----------------|-----------------|------------|---------------|------------|----------------------------------|---|-------------|
| 1885夏 | | | | | | | |
| 1885-86冬 | 少女 | 742 | ローブ | ローブ | 2-10才 | 胴着は冬物のジャージー製、スカートと掛け布はタータンの布地 | 32-42 |
| | 少女 | 745 | ローブ | ローブ | 2-10才 | 上着はブルーマリンまたは黒のサージ、スカートと胴着(ジレ)は青・赤・青・白・黒・白のタータンの布地 | 22-32 |
| 1886夏(Part1) | 子ども(少年に分類) | 609 | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 2-5才 | タータンの布地のプリーツスカート、ブルーマリンのジャージー製胴着、袴は5列の小さな白いフレードで装飾 | 0 |
| 1886夏(Part2) | 乳児(少女に分類) | なし | 乳児用スモック(上っ張り) | ブルーズ(ブラウス) | 2-4才 | タータンの毛織物、新たな色合い、リボンベルト | 7.9 |
| | 子ども(少女に分類) | なし | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-0.90m | スコットランド風(タータン)の毛織物、プリーツのスカートと胴着、リボン | 15.75-19.5 |
| 1886夏(Part3) | 子ども(少年に分類) | 609 | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 2-5才 | タータンの布地のプリーツスカート、ブルーマリンのジャージー製胴着、袴は5列の小さな白いフレードで装飾 | 19.75 |
| | 子ども(少年に分類) | 620-② | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | タータンの毛織物 | 8.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 723 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-0.90m | タータンの毛織物、無地のバイアスと風変わりなボタン飾り | 39-45 |
| | 子ども(少女に分類) | 725-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンのパチストまたは白か生のカメラ、上質の刺繍 | 32-45 |
| | 子ども(少女に分類) | 739-① | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンのナツテ、新しい色合い、無地のカシミア製ヨーク、リボン | 38-48 |
| 1886-87冬(Part1) | 乳児(少女に分類) | 719 | 乳児用スモック(上っ張り) | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.60m | インド製カシミア、タータンのバイアス飾り | 12.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 731 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | 非常に美しいタータンと似合いのサージで優雅、好みのボタン | 42-57 |
| | 子ども(少女に分類) | 739 | イギリス風上着 | ヴェスト | 0.50-0.70m | 上質の毛織物、ピロード飾り、スコットランド風タータンのスカート | 39-45 |
| | 子ども(少女に分類) | 740 | イギリス風上着 | ヴェスト | 0.50-0.75m | インドのカシミア製、全ての色合い、タータンのスカート、新しい色合い、風変わりなボタン | 29-35 |
| | 子ども(少女に分類) | 749 | 優雅な服装 | コスチューム | 0.80-1.05m | 縞またはタータン、最新作、無地のビクニヤ製上着にはピロード飾り | 65-75 |
| | 子ども(少年に分類) | 624-① | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 青・ルートル・黒色の無地の毛織物、非常に可愛らしい金ボタン飾り、襟には鍔付き | 28.5 |
| | 子ども(少年に分類) | 624-② | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | 似合いのタータン | 8.75 |
| | 1886-87冬(Part2) | | | | | | |
| 1887夏(Part1) | 若い娘 | 701 | 襲入りジュップ | ジュップ | 13-16才 | タータンの毛織物、新しい色合い | 29 |
| | 子ども(少女に分類) | 715-① | イギリス風ローブ | ローブ | 0.50-0.75m | タータン、新しい色合い、背や前面にピロードの三角布、ベルトや肩に風変わりなボタン飾り | 22.5-29.5 |
| | 子ども(少女に分類) | 715-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.50-0.75m | タータンのゼファー、ピロードまたは生の刺繍飾り | 18.75-25 |
| 1887夏(Part2) | 子ども(少女に分類) | 716-① | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.70m | インドの織織、全ての色合い、タータンの毛織物製スカートと胸当て | 14.75-19.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 716-④ | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.70m | 無地とタータンのシュラー | 59-69 |
| | 子ども(少女に分類) | 717 | ジャージー製ローブ | ローブ | 0.50-0.90m | タータンのスカートと掛け布(オーバースカート)、最新作、似合いのジャージー製胴着はプリーツの間を同じ刺繍 | 26-38 |
| | 子ども(少女に分類) | 725-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.50-0.90m | 濃く染められたスコットランド風(タータン)のクレープ | 22.75-37 |
| | 若い娘 | 731-③ | 服装 | コスチューム | 13-16才 | ジュニール糸を用いたスコットランド風(タータン)のゼファー、刺繍なし、ピロード飾り | 49 |
| | 子ども(少女に分類) | 736 | 優雅な服装 | コスチューム | 0.80-1.20m | タータンまたは水玉のペキンのスカート、最新作、無地の毛織物製ポーランド風ドレス、ピロード飾り | 78-98 |
| | 子ども(少女に分類) | 737-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-0.90m | スコットランド風(タータン)のクレープ加工のゼファー | 35-43 |
| | 若い娘 | 738-③ | 襲入りジュップ | ジュップ | 13-16才 | ページュまたは灰の非常に美しいタータン | 39 |
| | 子ども(少女に分類) | 741 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | 光沢仕上げまたはジュニール糸を用いたタータンのゼファー、生の刺繍飾り、ピロードのストラップ、リボン飾り | 42-59 |
| | 若い娘 | 743 | 優雅な服装 | コスチューム | 13-16才 | クリーム・空・マリンのゼファー、タータンまたはボンパドゥールの模様、季節の最新作、刺繍とピロード飾り、後腰部の上リボン結び | 85 |
| | 子ども(少女に分類) | 744-① | 服装 | コスチューム | 0.50-0.90m | タータンのゼファー、無地のゼファー製でボリュームのあるブラウス、ピロード飾り、スカートに銀細飾り | 29-49 |
| | 子ども(少女に分類) | 744-② | 服装 | コスチューム | 0.50-0.90m | タータンのフォーラー製、シュラー製ブラウス | 45-69 |
| | 子ども(少年に分類) | 617-① | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 青・ルートル・タバコの毛織物、非常に可愛らしいボタン飾りと縁取り | 35 |
| 子ども(少年に分類) | 617-③ | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | 似合いのスコットランド風(タータン) | 8.75 | |
| 子ども(少年に分類) | 624 | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 青・ルートル・タバコの毛織物、金や銅色の飾り玉で刺繍された縁飾り | 28.5 | |

19世紀後期のルーヴル百貨店の商品カタログにみる子ども既製服のデザインと性差

| | | | | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|-------------------------------------|--|-------------|
| 1887-88冬 (Part1) | 若い娘 | 701 | 服装 | コスチューム | 13-16才 | タータンと似合いの無地の毛織物、ギャザー入りのシユアー製シュミゼット(ブラウス)、風変わりなバックル | 59 |
| | 若い娘 | 706-③ | 襲入りジュップ | ジュップ | 0.85-0.95m | タータンと似合いの無地の毛織物 | 29 |
| | 子ども(少女に分類) | 707-① | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | ビクニーヤ製、組み紐で飾られた繊細なプリーツのチュニック、スカート、襟・カフスはタータンのピロード | 35-59 |
| | 子ども(少女に分類) | 707-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンと似合いの無地の毛織物 | 32-55 |
| | 子ども(少女に分類) | 708-① | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.70m | マリン・マロン・黒のビクニーヤ製、スカート・襟・カフスはスコットランド風タータン | 12.75-16.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 708-② | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.70m | タータンのピロード製スカート付き、最新作 | 18.75-23.5 |
| | 子ども(少女に分類) | 712 | 襲入りジュップ | ジュップ | 0.85-0.95m | ビュアウールのサージ、脇をピン止め、スコットランド風タータン | 32 |
| | 子ども(少年に分類) | 606 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | 無地のジャージ製でボリュームのあるブラウス、似合いのタータンのプリーツスカート | 19.75 |
| 1887-88冬 (Part2) | 子ども(少女に分類) | 720 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | スコットランド風タータンと似合いの無地、袖と胸当てには繊細なプリーツ、首と腰回りには飾り紐のモチーフ | 39-59 |
| | 子ども(少女に分類) | 721-② | 非常に優雅なローブ | ローブ | 0.65-1.05m | スコットランド風(タータン)の毛織物、無地のビクニーヤ製上着、房飾り付きスカート | 55-72 |
| | 子ども(少女に分類) | 723-① | イギリス風ローブ | ローブ | 0.50-0.75m | タータンまたは無地のピロード、レース飾り、可愛らしい風変わりなボタン | 29-35 |
| | 子ども(少女に分類) | 723-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.50-0.75m | スコットランド風タータン | 19.75-25 |
| | 子ども(少女に分類) | 724 | イギリス風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.75m | 無地またはタータンのピロード、レースの胸当てと袖飾り、飾り紐のベルト | 32-42 |
| | 子ども(少女に分類) | 743 | ジャージ製服装 | コスチューム | 0.65-1.05m | スコットランド風タータンのスカートと胸当て、メルトンで裏打ちしたジャージ製上着、マリンまたは黒の飾り紐の装飾、ウールの組み紐 | 49-65 |
| | 子ども(少年に分類) | 620-① | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 非常に美しい無地の毛織物、青・ルートル・タバコ・黒、プリーツ入りの胴着、折り返しと垂れぶたには風変わりなボタン 飾り | 29 |
| | 子ども(少年に分類) | 620-② | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | 似合いのタータンの毛織物 | 8.75 |
| | 子ども(少年に分類) | 635-② | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | タータンの毛織物 | 8.75 |
| | 子ども(少年に分類) | 643 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | スカート、無地のピロード製でボリュームのある上着、スカートと襟はタータンのピロード | 38 |
| 1888夏 | 乳児(少女に分類) | 746-① | 乳児用ローブ | ローブ | 0.50-0.70m | 非常に上質のタータンまたはチェック、プリーツのスカートとブラウス、刺繍飾り、革ベルト | 32-39 |
| | 乳児(少女に分類) | 746-② | 乳児用ローブ | ローブ | 0.50-0.70m | タータンのゼファー | 22-25 |
| | 子ども(少年に分類) | 616 | 服装 | コスチューム | 2-5才 | フェルト化した毛織物製タブルの上着で襟付き、青または赤のタータンのスカート | 22.5 |
| | 子ども(少年に分類) | 632 | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 青・ルートル色の無地の素晴らしい毛織物、前面はプリーツ、可愛らしい飾り紐ボタン | 28.5 |
| 1888-89冬 | 子ども(少女に分類) | 741 | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.70m | 青・黒・赤・強烈な色のチェビオット、スカートと襟は似合いのタータン、胸当てには金で刺繍されたモチーフ | 18.75-23.75 |
| | 子ども(少年に分類) | 615-① | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 青または赤のジャージ、金で刺繍された罫 | 13.75 |
| | 子ども(少年に分類) | 615-② | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | タータンの毛織物 | 8.75 |
| | 子ども(少年に分類) | 623-① | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | 美しい上質の毛織物、裾に飾り紐のモチーフ | 32 |
| | 子ども(少年に分類) | 623-② | ジュップ | ジュップ | 2-5才 | タータンの毛織物 | 10.75 |
| 1889夏(Part1) | 子ども(少女に分類) | 714 | 外套 | マント | 0.50-1.20m | タータンの毛織物または無地のチェビオット、袖をなす長いベルリース | 9.9-24.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 717 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンのビュアウール製毛織物、無地の折り返し、リボンの蝶結び | 29-46 |
| 1889夏(Part2) | 子ども(少女に分類) | 727 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンのゼファー、無地のゼファーのバイアス | 11.75-19.75 |
| | 乳児(少女に分類) | 730-③ | 乳児用ローブ | ローブ | 0.50-0.60m | スコットランド風(タータン)のゼファー | 11.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 731-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンまたはボンパドゥールのゼファー | 30-35 |
| | 子ども(少女に分類) | 743-② | 服装 | コスチューム | 13-16才 | ピンチェックまたはタータンのゼファー | 39 |
| | 子ども(少女に分類) | 745-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | スコットランド風(タータン)のゼファー | 23.75-35 |
| | 子ども(少女に分類) | 746-① | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.75m | タータンの毛織物製スカート、無地のブラウス | 8.9-12.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 746-② | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.75m | タータンと無地のゼファー | 7.9-10.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 747 | 優雅なローブ | ローブ | 0.65-1.05m | 非常に上質なタータンのゼファー、生の刺繍入りリエブロン、ウェストでリボンの蝶結び | 39-53 |
| | 子ども(少女に分類) | 748-③ | 服装 | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン)のゼファー | 39 |
| | 子ども(少女に分類) | 751 | 優雅なローブ | ローブ | 0.50-1.05m | すべてイギリス刺繍、生のパチスト製アンダードレス、タータンの大きなリボンベルト、最新作 | 37-89 |
| 子ども(少女に分類) | 752 | 服装 | コスチューム | 13-16才 | タータンのゼファー、刺繍飾り、後ろにリボン飾り | 49 | |
| 子ども(少年に分類) | 616 | スコットランド風上着 | ヴェスト | 2-5才 | アマゾン・青・焦げ茶・灰、前面はプリーツ、垂れぶたに毛アリのアップリケ | 30 | |
| 1889-90冬 | 子ども(少女に分類) | 709-② | 服装 | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン)、襟とカフスは黒いピロード | 78 |
| | 子ども(少女に分類) | 710-③ | 服装 | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン)のスカートと無地の上着 | 79 |
| | 子ども(少女に分類) | 712-① | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンのビュアウール、ピロードと風変わりなボタン 飾り | 32-42 |
| | 子ども(少女に分類) | 712-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | ウールと絹によるタータンのボブリン | 46-56 |

| | | | | | | | |
|------------|------------|------------|-------------|------------|------------|--|---------------------------------------|
| 1890夏 | 子ども(少女に分類) | 728-③ | ゼファー製コスチューム | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン) | 49 |
| | 子ども(少女に分類) | 730 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | 非常に美しいタータン、ピロード飾り付き無地のブラウス | 49-69 |
| | 子ども(少女に分類) | 731 | 外套 | ベリース | 13-16才 | タータンの毛織物、蜂蜜織りのヨーク | 49 |
| | 子ども(少女に分類) | 732-③ | 服装 | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン)、ピロードを刺繍に取り換え | 55 |
| | 子ども(少女に分類) | 733 | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.90m | ジャージー製、黒・マリン・赤、タータンのスカート | 18.75-32 |
| | 子ども(少女に分類) | 735 | スコットランド風外套 | マント | 0.50-1.35m | 蜂蜜織りのヨーク、アコーディオンプリーツのベール | 25-69 |
| | 子ども(少女に分類) | 745-① | ゼファー製コスチューム | コスチューム | 13-16才 | 刺繍付きタータン | 39 |
| | 子ども(少女に分類) | 745-③ | ゼファー製コスチューム | コスチューム | 13-16才 | ピュアウールのタータン | 59 |
| | 子ども(少女に分類) | 746-② | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-0.90m | スコットランド風(タータン)のシュラー | 35-59 |
| | 子ども(少女に分類) | 747 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | すべての色合いのサテンのベキン縮または非常に美しいタータン、レースの飾り襟、リボンのバラ結び | 36-49 |
| | 子ども(少女に分類) | 750 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンのゼファー、生の刺繍の胸飾り、リボン | 19.75-29.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 753-① | スコットランド風服装 | コスチューム | 13-16才 | ピロード飾り、非常に丁寧な仕立て | 52 |
| | 子ども(少女に分類) | 753-② | スコットランド風服装 | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン)のビクーニヤ | 69 |
| | 子ども(少女に分類) | 753-③ | スコットランド風服装 | コスチューム | 13-16才 | スコットランド風(タータン)の飾襟糸、灰またはベージュ地 | 89 |
| | 乳児(少女に分類) | 754-② | 乳児用ローブ | ローブ | 0.50-0.75m | 上質のゼファー、無地またはタータン | 12.75-16.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 756-① | ローブ | ローブ | 0.50-0.90m | 上衣にクリースの付いたタータンのシュラー、生のギビュール(レース)のヨーク | 42-62 |
| | 子ども(少女に分類) | 756-② | ローブ | ローブ | 0.50-0.90m | スコットランド風(タータン)の毛織物 | 32-45 |
| | 子ども(少女に分類) | 756-③ | ローブ | ローブ | 0.50-0.90m | スコットランド風(タータン)のゼファー | 17.75-28.5 |
| | 子ども(少女に分類) | 758 | ロシア風ブラウス | ブルーズ(ブラウス) | 0.50-1.05m | 無地のジャージー製、マリン・赤・黒・緑、タータンの毛織物製スカート、非常に鮮やかな色合い | 18.75-39 |
| | 子ども(少女に分類) | 761 | 豪華なドレス | ローブ | 0.50-1.05m | 上質のイギリス刺繍、非常に最新、生のパチスト製アンダードレス、タータンの大きなリボンベルト | 39-79 |
| | 子ども(少女に分類) | 762-① | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.70m | ピュアウールのタータン、無地の胸当てと襟、金ボタン | 16.75-21.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 762-② | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.70m | スコットランド風(タータン)のゼファー | 14.75-19.75 |
| | 子ども(少女に分類) | 762-③ | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.70m | スコットランド風(タータン)のシュラー | 35-45 |
| | 子ども(少女に分類) | 763 | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | タータンの毛織物と似合った無地、ピロードの襟とベルト | 22.75-34 |
| | 子ども(少女に分類) | 765-② | 好みのローブ | ローブ | 0.65-1.05m | 大きなタータン | 29.75-39 |
| | 子ども(少女に分類) | 766-③ | タッサ製ローブ | ローブ | 0.65-1.05m | スコットランド風(タータン)のシュラー | 95-135 |
| | 1890-91冬 | 子ども(少女に分類) | 528-② | イギリス風ローブ | ローブ | 0.65-1.20m | スコットランド風(タータン)のスカートとヨーク、無地のビクーニヤ製ブラウス |
| 子ども(少女に分類) | | 531-① | 服装 | コスチューム | 13-16才 | タータンの飾襟糸、似合いのピロード飾り | 59 |
| 子ども(少女に分類) | | 531-② | 服装 | コスチューム | 13-16才 | タータンの歌織 | 79 |
| 子ども(少女に分類) | | 539 | ローブ | ローブ | 0.50-1.05m | 黒・マリン・マロン・緑の狩猟用ピロード、レースの大きな襟、タータンの大きなリボンベルト | 42-72 |
| 子ども(少女に分類) | | 542 | マリン風・水兵風服装 | コスチューム | 0.50-0.75m | 赤・マリン・黒のサージ、タータンのバイアス飾り | 18.75-22.75 |
| 子ども(少女に分類) | | 543-③ | ロシア風ローブ | ローブ | 0.50-0.75m | スコットランド風タータンのバイアス | 25.75-29.75 |
| 子ども(少女に分類) | | 545 | ローブ | ローブ | 0.50-1.05m | タータンのチェビオット、ピロードの胸飾りと袖飾り | 18.75-35 |



図1 「子どもの服装」、『ルーヴル百貨店の商品カタログ』(1878年夏号)、182頁、ガリエラ宮パリ市立モード美術館所蔵



図2 「男児の服装」、『ルーヴル百貨店の商品カタログ』(1887-88年冬号)、67頁、ガリエラ宮パリ市立モード美術館所蔵



図3 「男児の服装」、『ルーヴル百貨店の商品カタログ』(1889年夏号)、61頁、ガリエラ宮パリ市立モード美術館所蔵

< <http://www.palaisgalliera.paris.fr/en/node/1532> > (2021年9月14日アクセス)

< <http://www.palaisgalliera.paris.fr/en/node/1532> > (2021年9月14日アクセス)

< <http://www.palaisgalliera.paris.fr/en/node/1532> > (2021年9月14日アクセス)

註

- 1 フィリップ・アリエス『〈子供〉の誕生—アンシャン・レジーム期の子供と家族生活』杉山光信、杉山恵美子訳、みすず書房、1980年、50-60頁。
- 2 イヴァン・ジャブロンカ「男らしさへの旅」としての子ども時代、『男らしさの歴史 II 男らしさの勝利—19世紀』小倉孝誠監訳、藤原書店、2017年、54-90頁。
- 3 男児がズボンを初めて着用する行為の象徴性については、以下を参照のこと。新實五穂「近代フランスにおける子ども服と男らしさ」、『子ども学研究紀要』第6号、お茶の水女子大学、2018年、1-10頁。
- 4 Andrew Bolton, *Bravehearts: Men in Skirts*, London, V&A Publishing, 2003, p.62; Noreen Marshall, *Dictionary of Children's Clothes 1700s to Present*, London, V&A Publishing, 2008, p.23; Claude Fauque, *Quand les vêtements racontent l'enfance*, Arles, Éditions du Rouergue, 2017, p.56.
- 5 Jane Ashelford, *The Art of Dress: Clothes and Society, 1500-1914*, London, National Trust, 1996, pp.281-282.
- 6 濱田雅子『20世紀アメリカの女性デザイナーの知られざる真実—アメリカ服飾社会史 続編』、株式会社インプレスR&D、2021年、135頁。
- 7 19世紀フランスの衣服の消費・購入に関しては、以下の論考に詳しい。フィリップ・ペロー『衣服のアルケオロジー 服装からみた19世紀フランス社会の差異構造』大矢タカヤス訳、文化出版局、1985年；北山晴一『おしゃれと権力』、三省堂、1985年。

- 8 鹿島茂『デパートを発明した夫婦』、講談社、109-112頁。
- 9 エミール・ゾラ『ボヌール・デ・ダム百貨店 デパートの誕生』吉田典子訳、藤原書店、2004年、352頁。
- 10 新實五穂「19世紀後期のルーヴル百貨店におけるスコットランド風男児服—子ども服売場の創設と商品カタログの展開—」、『国際服飾学会誌』第57・58合併号、国際服飾学会、2021年、20-37頁。
- 11 エリザベス・ユウイング『こども服の歴史』能澤慧子、杉浦悦子訳、東京堂出版、2016年、119頁。
- 12 ルーヴル百貨店のイラスト付き商品カタログは、ガリエラ宮パリ市立モード美術館が所蔵するものを参照したく<http://www.palaisgalliera.paris.fr/en/node/1532> (2021年9月14日アクセス)。
- 13 Piedade da Silveira, *Les Grands magasins du Louvre au XIXe siècle*, Paris, Caisse de retraites des entreprises à commerces multiples accueil-information, 1995, p.35 ; 横田尚美「パリ・ルーヴル百貨店の初期ファッションビジネスの研究：1860～80年代の印刷メディアを資料として」(博士論文)、筑波大学、2015年、73頁。
- 14 Claude Fauque, *op.cit.*, p.155.
- 15 *Ibid.*, pp.155-157; Musée national de la marine, *Les Marins font la mode*, Paris, Musée national de la marine, Gallimard, 2009, pp.49-51. 「マリン風・水兵風」の装いは1930年頃まで子ども服として着用され、良家の家庭では日常着として、それ以外の階層の家庭では理想的な晴れ着として用いられたという指摘もある。
- 16 Andrew Bolton, *op.cit.*, p.99; 奥田美紀『タータン・チェックの歴史』、河出書房新社、2013年、102-103頁。19世紀半ば以降、合成染料の発明によって鮮明な色彩が表現できるようになると、フランス女性の服飾流行において、タータンがいっそう普及していくことになったとされる。
- 17 *Ibid.*, p.99. ブラッドがキルトに変更されるのと同じ時期に、イギリス軍の連隊に従うことを示す赤色の上着は下衣の形状に併せて、他の連隊と同様の標準的なデザインに変わり、スポーランは小さく実的なものから、大きくて毛で覆われた装飾的なものへと変化していったとされる。
- 18 *Ibid.*, p.101.
- 19 *Ibid.*, p.100; 奥田美紀、前掲書、28-29頁。
- 20 クラン・タータンを普及させる上で、バノックバーンのタータン製造業社であるウィリアム・ウィルソン・アンド・サン商会の存在を無視することはできない。同社は、19世紀初頭にスコットランド連隊の軍服はもとより、婦人服や子ども服の国際的な市場に向けてタータンを供給していたとされる。(*Ibid.*, p.100 ; 廣瀬歩編『タータン 伝統と革新のデザイン』、青幻舎、2018年、34頁。)
- 21 Musée des Arts Décoratifs, *Fashion forward: trois siècles de mode*, Paris, Musée des Arts Décoratifs, 2016, p.105. 同書では、全身の服装をスコットランド風で一揃いにするのは行き過ぎで過剰であると次第に見なされるようになり、子ども服としては廃れていったことが指摘されている。
- 22 Andrew Bolton, *op.cit.*, p.101; 奥田美紀、前掲書、31-35頁 ; 廣瀬歩、前掲書、35頁。
- 23 奥田美紀、前掲書、33頁。
- 24 Claude Fauque, *op.cit.*, pp.154-155. 19世紀後半のイギリスでは、ヴィクトリア女王の息子たちの影響で、男児用のスコットランドの服装が流行り、男児の正装としても認められ、その流行は1900年頃まで続いたとされる(廣瀬歩、前掲書、61頁)。
- 25 Fabienne Falluel, “Les Grands magasins et la confection féminine”, *Femmes fin de siècle 1885-1895*, Paris, Paris-Musées, 1990, p.82.
- 26 キルトがスカート状のデザインであったため、スコットランド風の男児服は、商品として一定の需要があったのではないかという指摘もある(横田尚美、前掲論文、178頁)。